

上位計画策定過程での緑に関する市民意見について

1. まちづくり市民ワークショップ

○スケジュール

- ・平成 25 年 7 月 27 日から平成 26 年 2 月 1 日にかけて 10 回開催

○目的

- ・次期総合計画の策定に当たり、これからのまちづくりの基盤とも言える「協働のまちづくり」の第一歩となることを目的として実施。

○緑に関する主な意見（抜粋）

茨木市の良いところ

- ・公園や桜並木など自然を感じられる
- ・都市景観が良い。ごちゃごちゃしていない
- ・実は歴史的・文化的に貴重な施設が多い
- ・空・山の景観が良い

今後の取り組みについての提案

- ・自然を活かした公園などの整備
- ・子どもが安心してのびのびと遊べる場所
- ・ダム湖とその周辺が新たな観光地に
- ・桜通りを中心に各地の自然とコラボしていく
- ・元茨木川緑地のアートのコラボ
- ・田園、山、森、川、ホテルを活かす

2. 茨木市のまちづくりに関するアンケート

○スケジュール

- ・平成 25 年 1 月 29 日～2 月 12 日

○目的

- ・次期総合計画の策定に当たり、市民が日ごろまちづくりについて考えていることや、まちづくりに対する率直な意見を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施

○回収率等

- ・発送数 5,000 票、回収数 2,429 票、有効回収数 2,423 票、回収率 48.5%

○緑に関する設問及び集計結果（抜粋）

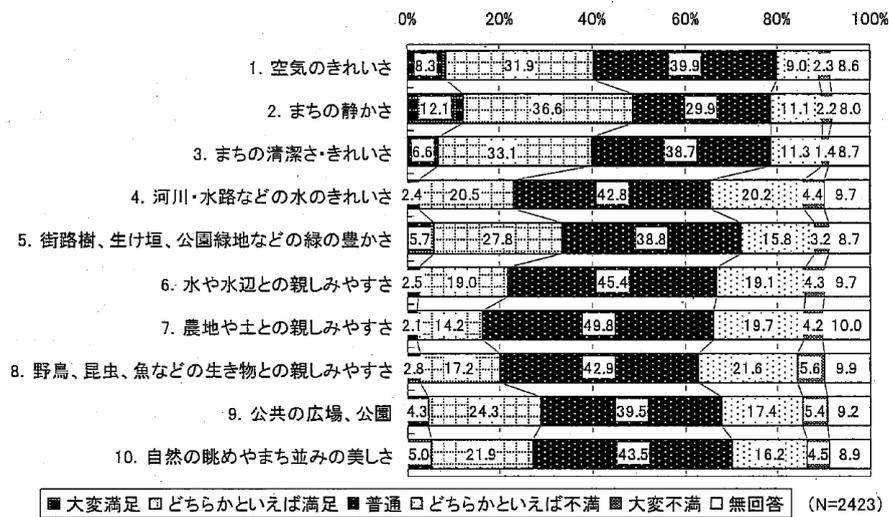
茨木市の現状への満足度

- ・「うるおいのある緑と水辺の形成」に対する満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」と答えた方の割合は 25.6%で、全 42 項目中 3 番目に高い。（全項目平均は 14.9%）

周辺環境についての満足度

- ・「満足」（「大変満足」と「どちらかといえば満足」の合計）と答えた方の割合は「まちの静かさ」が 48.7% で最も多く、「空気のきれいさ」が 40.2%、「まちの清潔さ・きれいさ」が 39.7%と続いている。
- ・不満と答えた方の割合は、「野鳥、昆虫、魚などの生き物の親しみやすさ」が 27.2%で最も多く、「河川・水路などの水のきれいさ」が 24.6%「農地や土との親しみやすさ」が 23.9%と続いている。
- ・全体的には生活環境に関する満足度は高いが、自然環境に関する満足度は低い結果となっている。

図表II-114 周辺環境の満足度



茨木の自然という言葉からイメージするもの

- ・「茨木の自然」からイメージするものは、「西河原公園、耳原公園、あさぎ里山公園、若園バラ公園・・・などの公園」が 54.7%で最も多く、「竜王山などの北摂山系」が 41.4%、「安威川、高瀬川親水水路、十丁堰水路・・・などの水辺」が 27.0 と続いている。

図表II-115 「茨木の自然」からイメージするもの(複数回答)

